



地域社会のために つくします

平和堂は、地域社会の一員として、よりよい社会をつくるための取組みに注力し、「環境」と共存する会社を目指しています。

2 環境をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	6 安全な水とトイレを世界中に
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさを守ろう

食育推進活動

健全な食生活を育んでいます。

クッキングサポート
設置店舗数

28

店舗

クッキングサポート キッズイベント

店内に設置している「クッキングサポートコーナー」では、お客様に食べることの楽しさや大切さをご提案しています。また、カウンターの前ですぐに参加できる小規模のものから、フードコートや空きスペースを利用した予約制イベント、「スタンプラリー」のように店全体を使った企画まで、多くの子どもたちに参加いただき、楽しく学ぶことができると好評です。

【イベントの種類】

- ①季節のモチベーションに合わせたイベント（イースター、梅仕事、ハロウィン、お正月など）
- ②ゴールデンウィークや夏休みに学びを入れた体験（キッズお仕事体験、実験教室など）
- ③謂れの日や記念日などにちなんだイベント（箸の日、菜の日、節分など）

開始前から仮装した子どもたちの長蛇の列ができ、200名以上が参加してくださいました。



▲ハロウィンスタンプラリーでお菓子をゲット



▲梅仕事 梅を漬ける体験



▲ゴールデンウィーク 野菜の切り口スタンプでお絵かき

お箸を上手に使用して、はとっぴーにお寿司を食べさせてね。



▲箸の日(8月4日) お箸を上手に使う



▲夏休み 身近にある「砂糖」で溶け方の実験



▲節分 巻き寿司を作ろう



「31日」には野菜のメニュー提案や野菜クイズなど、クッキングサポート全店で取組みました。

▲菜の日 31日に野菜の計量クイズに挑戦

5 A DAY (ファイブ・ア・デイ) 食育体験ツアー※1

座学だけでなく売場で商品を直接手に取って楽しく学ぶことのできる本ツアーは、ご参加いただいた団体様からとても好評です。

2019年度は、このツアー運営を担当する食育インストラクターを前年からさらに5名増やし、食育活動での地域貢献として取り組みました。2019年度は幼稚園の参加が増え、参加団体数が大幅に上回りました。

※1 5 A DAY (ファイブ・ア・デイ) 食育体験ツアー「1日に5皿分(350g)以上の野菜と200gの果物を食べよう!」をスローガンとして、園児(5歳児)や児童(小学3年生)にバランスの良い食事について学んでもらう食育体験プログラム。

ファイブ・ア・デイ協会認定
食育インストラクター数

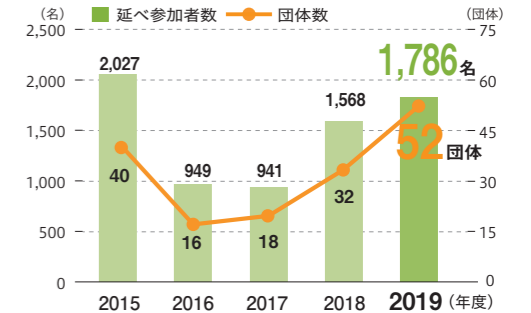
17

名

▲(大垣市)安井幼稚園の皆さんと



「5 A DAY 食育体験ツアー」参加者数の推移



2019年度資格取得者



アル・プラザ栗東 村田 香織先生



アル・プラザ堅田 出野 万里子先生



アル・プラザ長浜 草野 玲好先生



CSR推進室 古池 真人先生



アル・プラザ鶴見 白井 ゆか先生

VOICE 食育インストラクターの声

5 A DAY の輪を広げたい。

園児さんと楽しくお勉強するこの食育体験ツアーを運営するようになり、これから大きくなる子どもたちに強く元気な身体作りができるよう学んでもらうことの大切さを実感しています。

また、31日は菜の日。クッキングサポートでも食育インストラクターの知識を活用して、野菜の計量クイズなどを実施しています。今後も多くのお客様に食の大切さをお伝えできるように日々取り組み、平和堂から5 A DAY の輪を発信できたらとても嬉しいです。

PICK UP 食育推進活動 [アル・プラザ醍醐 2019年7月8日(月)]

はなぶさ保育園

たべるのおはなし教室

京都市にあるはなぶさ保育園さんに初めてツアーにご参加いただきました。うちゅう組・ちきゅう組の年長さん35名がアル・プラザ醍醐で楽しくお勉強しました。

お勉強した内容から与えられるミッションに沿って、売場でお野菜・果物を探しお買い物ゲーム。決められた予算内でお買い物できたかドキドキ。



▲可愛いランチョンマットのお土産ももらって、最後に全員で記念撮影。



まずはみんなでDVDを視聴します。

▲当日のインストラクターは食品副店長の尾中克匡先生。(現・フレンドマート土山店 店次長)

食べ物は働き方によって3つの部屋に分かれることをしっかりお勉強(三色食品群)。特に緑の部屋(野菜・果物)を重点的に、詳しく教えてもらいます。



最後は楽しいなぞなぞゲーム。



▲後日園児さん手作りの可愛い作品が店舗で展示されました。

産地収穫体験

メーカー様・お取引先様協同で開催する産地収穫体験や料理教室。2019年度は台風などの天候の影響で一部が中止になったものの、多くの方がこの体験に参加されました。親子で参加する収穫体験は、生産者から聞く「育てる苦労」を知ることで食べ物への感謝の心を育み、その後の食卓にも変化をもたらすような貴重な経験になっています。



▲みかん収穫体験

2019年度収穫体験・料理教室

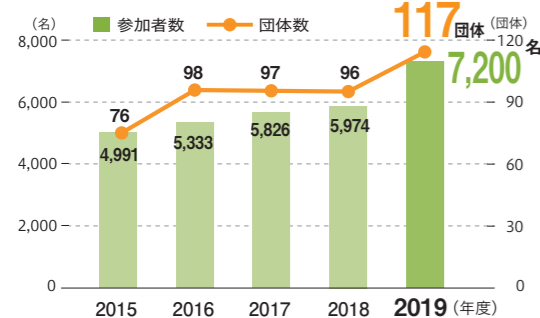
	内容	場所	人数
3月16日	日生かき剥き体験・播磨フレッシュでのかき加工工場の見学	岡山県	16組39名
5月18日	第11回 月桂冠稲作体験 1回目	滋賀県彦根市	12組35名
6月15日	JAグリーン近江きゅうり・玉ねぎ収穫体験&料理教室	滋賀県近江八幡市	12組29名
6月16日	金沢すいか収穫体験	石川県金沢市	15組32名
9月21日	月桂冠稲作体験 2回目	滋賀県彦根市	11組30名
10月27日	第7回 大塚製菓大豆収穫体験	滋賀県蒲生郡	21組79名
11月16日	みかん収穫体験	和歌山県	17組37名
11月23日	南山城村したいけ収穫体験&バーベキュー教室	京都府相楽郡	15組34名
12月 7日	宝酒造・紀文おせち料理教室	京都府京都市	17組34名

子ども環境学習「平和堂エコピースクラブ」

エコを楽しく学習

スーパーで働く人や仕事について調べる校外学習の場として、店舗では多くの学校を受け入れていますが、店舗見学と同時に、店舗が取り組む「エコ」について学べるよう、これまで活用していた教材を一新。リサイクルに特化した内容から、幅広く店舗について調べられるものに変更し、2019年度は参加団体が大幅に増えました。

▶「エコピースクラブ」参加者数の推移



▲リニューアルした教材

エコピースクラブ
参加児童数

7,200名



参加者数 349名



▲すいか収穫体験



▶しいたけ収穫体験

地域コミュニケーションの推進

地域の皆様と交流

各地の平和堂店舗で、地元の夏祭りに参加させていただいたり、店内で縁日を企画したりと、地域の皆様と楽しく交流させていただきました。

HATOC 夏祭り

2019年8月3日(土)に、平和堂本部において「HATOC 夏祭り」を開催しました。本部前の駐車場を利用した会場では屋台や縁日を準備し、メインステージでは様々なイベントが催されました。

猛暑の中でしたが昨年を上回るお客様にご来場いただき、縁日や盆踊りを楽しんでいただきました。

HATOC夏祭り
参加者数

約 7,000名



多くの地元の方々に
ご参加いただきました。

地域密着店舗、フレンドタウン交野

2019年2月15日にオープンしたフレンドタウン交野では、「地域密着型ショッピングセンター」をコンセプトとした「毎日イベント」を開催しています。地元を中心としたパフォーマー達の発表や、写真展示、お客様参加型のイベントなどを開催することで、より地域に根差したショッピングセンターを目指しています。また、警察・消防・交野市などとも連携し、イベントを通して啓発活動の推進にも役立てています。



▲手づくりサンドイッチ教室

【イベントの一部をご紹介】

●手づくりサンドイッチ教室
「食育」に重点を置かれている山崎製パン様による手づくりサンドイッチ教室。毎月、応募が殺到する人気の企画です。

●七タダンスフェスティバル
100人を超えるダンスキッズが集まって開催した七タダンスフェスティバル。200人を超える観客が集まりフレンドテラスは満員に!最後はみんなで記念撮影。

●ベビーオイルマッサージ〜とと〜
乳児向けオイルマッサージ教室の開催。同じ年代の子どもをもつママたちが集まるコミュニティの場としても活躍。フレンドタウン交野には小さなお子様づれがたくさん来られます。

●ココロワークショップ
社会福祉法人かたの福祉会様と企画した「ココロワークショップ」。さをり織り、ハンカチ草木染、ペーパーバッグ工作などを体験でき、社会貢献の一環にもなっています。

●ふれあい写真展
地元の写真家たちの展示の場として「ふれあい写真展」コーナーの設置。月替わりでデジカメ同好会、地元野鳥の会など現在4団体が参加してくれています。



▲七タダンスフェスティバル



▲ベビーオイルマッサージ〜とと〜



▲フレンドタウン交野
イベントカレンダー



▲ココロワークショップ

スポーツ支援

第46回知事杯・第28回若ハト杯平和堂ママさんバレーボール大会

平和堂では1974年から「平和堂ママさんバレーボール大会」を開催しています。46回目となる2019年度は9月8日(日)、完成して間もない「くさつYMITアリーナ」において決勝日を迎え、4月の地区予選から勝ち上がった知事杯の部8チーム、若ハト杯の部4チームが優勝旗を争いました。

ラリーの応酬、熱戦につぐ熱戦の結果、知事杯の部は「富士見」、若ハト杯の部は「綾華クラブ」が優勝。各3位までのチームには、平松社長から表彰状、トロフィー、記念品が授与されました。

参加者数 **1,110**名 (74チーム)



▲平松社長からメダル授与



◀ラリーが続く決勝戦

第36回平和堂カップ福井綱引大会

1985年に始まったこの大会は国内屈指の綱引大会で、平和堂は第1回目から協賛しています。2020年2月16日(日)に開催された第36回大会では、北陸、関西、中京エリアから多くのチームが参加。平和堂からも、アル・プラザベルとショッピングシティベルの合同チーム、そしてアル・プラザ鯖江がエントリーしました。試合開始とともに会場は熱気につつまれました。

参加者数 **1,577**名 (116チーム)



▲開会式であいさつする平松社長

◀ベルチームは見事、決勝トーナメントへ進出しました。

第29回「平和堂カップ」春の全国小学生ドッジボール選手権 滋賀大会

2020年2月16日(日)、滋賀県湖南市総合体育館において第29回「平和堂カップ」春の全国小学生ドッジボール選手権の滋賀県予選大会が開催されました。滋賀県内の参加クラブチームは6チームと少ないものの、どのチームも優勝経験のある強豪クラブで、広島市で行われる全国大会出場を目指して熱戦が繰り広げられました。また、近隣の平和堂店舗を代表して甲西中央店の岩井次長が開会式に駆け付け、選手を激励しました。



▲熱戦が繰り広げられた大会

◀応援に駆け付け、開会式で挨拶 (甲西中央店 衣住次長 岩井哲也)

PICK UP 地域コミュニケーション活動

「第1回 関西スポーツ応援企業表彰 地域振興賞」受賞

関西広域連合と関西経済連合会により創設された「第1回関西スポーツ応援企業表彰」にて「地域振興賞」を受賞しました。平和堂は「滋賀県知事杯争奪平和堂ママさんバレーボール大会」や「平和堂カップ福井綱引大会」の開催など、地域とともに社員も運営支援や大会に参加し、継続して取り組んでいる点を評価いただきました。



◀大阪大学中之島センターにて行われた表彰式の様子

第35回S&B・平和堂杯 ちびっこ健康マラソン大会※1

平和堂は「食育」をテーマに開催されるこの大会の趣旨に賛同し、本大会がスタートした1984年から滋賀県代表として大会運営を行っています。11月2日に開催された大会では35回目の節目を迎え、記念企画として「親子伴走(未就学児)」を本競技前に行い、次年度への参加促進に繋げました。

※1 ちびっこ健康マラソン大会 「美味しく食べる、よく運動する、それによって真の健康が得られる」という「美味しくさと健康」の理念に基づき、「21世紀を担う人づくり」をテーマに、スポーツを通じて心身ともに健康な子ども達を育成しようと、1984年より全国約40か所で大会が開催されています。

第1回サントリー×平和堂 親子ピワイチ体験教室

県内外問わず、ピワイチ※2の参加者が年々増えている中、サントリー様と滋賀県様のご協力のもと、初心者向けの「親子ピワイチ体験教室」を春休み期間に開催しました。自転車の乗り方やマナーなど基礎知識を学べる体験教室となっており、この体験教室を足掛かりとしてピワイチ人口増加促進に貢献しています。

※2 ピワイチ 自転車で琵琶湖を一周する、略してピワイチ。走行距離は200km。琵琶湖岸の景色を楽しみながら走行できる爽快感、雄大な琵琶湖を走破したという達成感が味わえます。滋賀県では観光交流局に「ピワイチ推進室」を設置し、より多くの方にピワイチを安全・安心に楽しんでもらえるように取り組んでいます。

当日参加者 **46**名 (23組)



▲親子ピワイチ体験参加者の皆さん

びわスポキッズプログラム

平和堂は2009年からびわこ成蹊スポーツ大学が実施する「びわスポキッズプログラム」に協賛しています。このプログラムは、子どもたちの「スポーツの芽」を育むため、4歳児から小学3年生を対象に、びわこ成蹊スポーツ大学の学生キッズリーダーが子どもたちにスポーツの育成を行うものです。幼稚園・保育園への巡回指導や、年数回のフェスティバルを滋賀県下で実施されています。



元気に走り回る子どもたち▶

滋賀レイクスターズ×平和堂 2018-2019シーズンオフイベント活動

平和堂はBリーグ(国内男子バスケットボールリーグ)で活躍する滋賀レイクスターズのオフィシャルパートナーとして協賛、互いに連携し地域のお客様との交流の輪を広げ、県内のバスケットボール年少競技者を支援しています。

毎年、シーズン終了後にはお客様とのふれあいイベントを開催しており、今季は県内の店舗および小学校において合計5回のイベントを開催し、延べ800名のお客様に参加いただきました。



▲滋賀レイクスターズの選手とのふれあい体験

応募総数 **1,411**名

▲ちびっこ健康マラソン大会

PICK UP 地域コミュニケーション活動

ピワイチ「サイクルステーション」を設置し、観光を楽しむ方をサポート

2018年3月から、平和堂はサントリーフーズ株式会社様、サントリー酒類株式会社様と協働して、滋賀県内全店舗をピワイチの「サイクルステーション」として登録しています。登録に伴いピワイチプロジェクトを推進し、滋賀県と連携した活動を実施しています。

また、平和堂の一部の店舗では「サイクルステーション」の設置だけでなく、店内に観光マップやお土産品などを展示し、おすすめの地元情報もご提供しています。



▲平和堂今津店の地元高島紹介コーナー

環境保全活動

第2回サントリー×平和堂 湖岸清掃活動

平和堂とサントリー様、滋賀県様が一体となり、琵琶湖清掃活動と募金活動を実施しています。この活動は2008年から続けている「マザーレイク滋賀応援キャンペーン」の一環として実施しており、地域社会への貢献とともに、子どもたちの環境教育に繋がっています。2019年度は、前年度より多くの方に参加いただきました。



◀▲清掃活動風景

参加者 **115**名
(大人59名、子ども56名)



伊藤園×平和堂 伊藤園びわ湖ヨシ刈り体験

「お茶で琵琶湖を美しく」をキーワードに、伊藤園様が行うヨシ刈り体験が滋賀県守山市の湖岸で開催されました。イベントには三日月大造滋賀県知事や宮本和宏守山市長をはじめ、伊藤園社員の方やお客など300名以上、平和堂からも平松社長をはじめ社員10名が参加しました。当日は、手鎌を使って2メートルを超すヨシを刈るなど、皆さん気持ちのいい汗を流しました。



◀▲ヨシ刈り体験風景



滋賀県内の子ども食堂を支援

現在130か所を超えた滋賀県内の子ども食堂※1を、2017年から継続して支援をしています。滋賀県社会福祉協議会を通じて、年2回、平和堂商品券を贈呈するとともに店頭募金を合わせて寄附支援しています。2019年度は、平和堂から約600万円の商品券と店頭募金約95万円を各子ども食堂の開催回数に応じて配分し、必要な食材等の購入に活用いただきました。

※1 子ども食堂
貧困家庭や孤食の子どもに対し、食事や安心して過ごすことのできる場所を提供することを目的に始められた社会活動で、最近では地域のすべての子ども、親、地域の大人など、対象を限定しない食堂も増えています。地域のボランティアなどで運営し、公民館等の公的施設で月1~2回程度開催の食堂が多いです。



▲第5回子ども食堂支援寄附金・店頭募金の贈呈



▲甲賀市の17の子ども食堂作成の歌「大好き♡子ども食堂」発売、CDの販売代金の一部は子ども食堂へ寄付

環境保全への取り組み

地域の森林保全「平和の森づくり」

平和堂では、生物多様性保全の一環として、平和堂グループの社員とその家族のボランティア参加による森林保全活動「平和の森づくり」を福井県、滋賀県、京都府、岐阜県の4府県5か所で展開しています。

2019年度は間伐材の有効利用をテーマに、福井泰澄の杜で2回、京都湯船森林公園で2回、岐阜池田山で1回、滋賀県では東近江愛郷の森とびわ湖地球市民の森で各1回の合計7回活動を行いました。



◀「平和の森・池田」に参加した皆さん(2019年11月6日)

平和の森づくり
参加者数延べ **531**名



▲間伐材を活用して遊歩道の整備

PICK UP 「平和の森づくり」活動

「美しいふるさとづくり功労賞〈森づくり部門〉」受賞

福井県丹生郡越前町にある泰澄の杜での「平和の森づくり」活動は2009年から毎年2回実施しており、2019年度には10周年を迎えました。これを記念して福井県から「美しいふるさとづくり功労賞」の森づくり部門で知事表彰を受賞しました。



▲北陸営業部部长 北川嘉嗣



低炭素社会の実現

地球温暖化防止に努めています。

2019年度は、既存店舗の蛍光灯のLED化を集中的に取り組みました。これまでは効率の悪い水銀灯、FL/FLRを中心に行ってききましたが、本年度より、高効率なFHFも対象に加え、LED化を進めています。

また、昨年に引き続き、二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金を利用し、A重油を利用した空調設備を電気式の空調設備に更新し、フロン対策として新型高効率冷蔵冷凍ケースの更新、新型節水器他の導入を進めました。

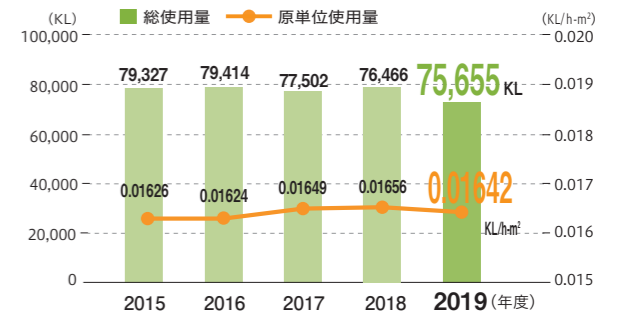


▲更新した冷媒機

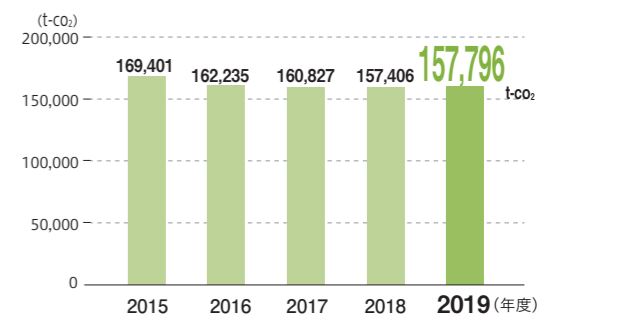
一次エネルギー使用量
[原単位(営業時間×営業面積)]

2.47 %削減(昨対比)

▶ 一次エネルギー年間使用量の推移
(電気・ガス・石油類を原油量に換算)



▶ CO₂排出量の推移



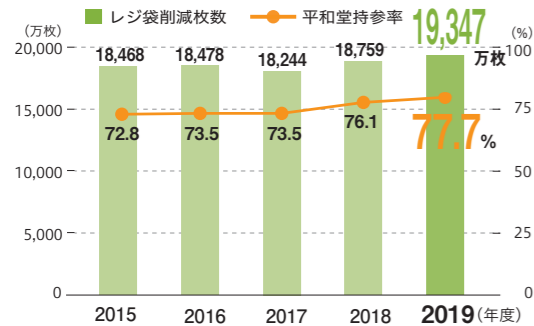
お買い物袋持参運動

亀岡市レジ袋無料配布中止

2019年6月28日、京都府亀岡市からの呼びかけに応え、「亀岡市におけるエコバッグ等の持参及びレジ袋の大幅削減の取組みに関する協定」を締結し、同年8月20日よりアル・プラザ亀岡の食品売場におけるレジ袋の無料配布を中止しました。京阪地域においては、京都市、大阪府北摂地区に続いて3例目となり、レジ袋有料化によるマイバッグ持参の取組みの輪が増々広がってきています。

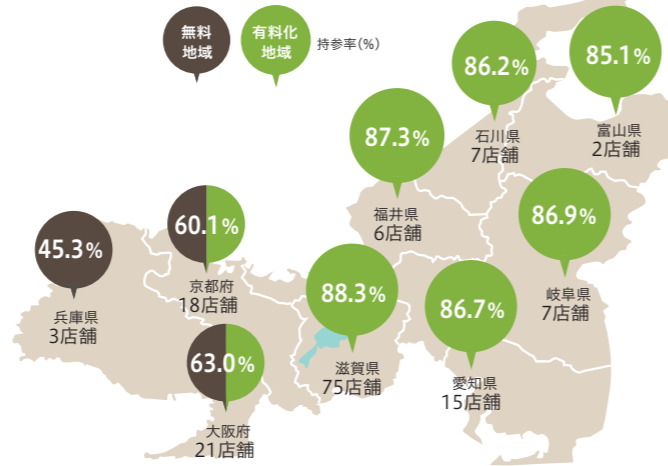
2019年度の平和堂全店におけるお買い物袋持参率は、昨年を1.6ポイント上回りました。また、エコバスケットは12,249個販売しました。

▶お買い物袋持参率とレジ袋削減量の推移



2019年度
レジ袋削減枚数 **19,347** 万枚

原油を節約
ドラム缶 **15,588** 本分



府県別お買い物袋持参率
全154店舗(平均) **77.7%**

PICK UP 「平和の緑づくり」活動

新たに大阪府に拡大

平和堂は一部地域を除いて、環境保全活動の一環として食品売場のレジ袋の無料配布中止に協力しています。有料で販売したレジ袋の販売収益金は府県の緑化推進会などに寄附し地域の小学校や幼稚園の緑化に役立てていただく「平和の緑づくり」活動が広がっています。

2019年度は、大阪府へも活動が広がって茨木市内の2か所のこども園で植樹を行い、滋賀県6か所、石川県2か所と合わせて合計10か所で緑化活動を実施しました。

VOICE 店長の声

子どもたちの明るい未来を願いながら

2020年2月5日、茨木市の店舗を代表して、花たちばな認定こども園の植樹式典に出席し、27名の園児といっしょに園の名前にちなんで「たちばな」の苗木を植えました。植樹後は、NPOボランティア様と一緒に木々の大切さを学ぶこども教室にも参加し、寒い中でも元気いっぱいの子どもたちにパワーをもらったような楽しい植樹式でした。



真砂店 店長
上門 昭一郎



◀花たちばな認定こども園の子どもたち

循環型社会への貢献

循環型社会の実現を目指しています。

平和堂リサイクルセンター

自社施設「平和堂リサイクルセンター」にて、資源の有効活用に取り組んでいます。ここでは、店頭回収したペットボトルや納品用ハンガーなどのプラスチック類、不要になった不燃物などを回収し、プラスチック・金属・ガラスなど、種類ごとに手選別で解体・分別しています。

分別されたものは固形燃料(RPF)化等の処理をしてリサイクルされており、特にプラスチック類は、素材ごとに破碎処理することで、リサイクル率を向上させています。

2019年度のリサイクル率は、91.5%で1,264tを資源として再活用できるようにしました。

平和堂リサイクルセンター
リサイクル率 **91.5%**

食品リサイクル

店舗で発生する食品廃棄物の抑制に取り組むとともに、食品リサイクルを推進しています。

2019年度は従来の魚アラ、野菜・果物くずに加え、一部エリアでデリカくずのリサイクルも開始しました。

この食品リサイクルにより堆肥化された野菜くずは「循環エコ野菜」に活用されるほか、リサイクル飼料として、畜産にも利用されています。年間の食品廃棄物の発生量は前年340t減の6,759t、リサイクル率62.7%でした。

店頭での容器回収とリサイクルステーション

地域のリサイクル活動に貢献できるよう、店頭で専用回収BOXを設置し、使用済みの牛乳パック、食品トレイ(発泡・透明)、ペットボトルの回収を行っています。

また、リサイクルステーション(えこすぽっと、Rステーション、ecoひろば※1)は新たに1店舗増え、現在59店舗まで拡大しました。お客様が持参された資源の重量に応じて専用カードにポイントが加算され、500ポイントで平和堂商品券と交換することができます。

※1 ecoひろばは、5,000ポイントで平和堂商品券と交換になります。

▶リサイクルステーション回収実績(2019年度)



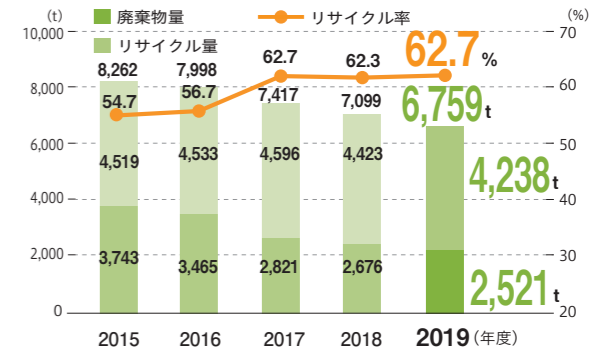
廃棄物の削減

廃棄物のリサイクル率を向上させ、最終廃棄処分量を削減するために、廃棄物の総発生量・リサイクル量・最終処分量を管理しています。

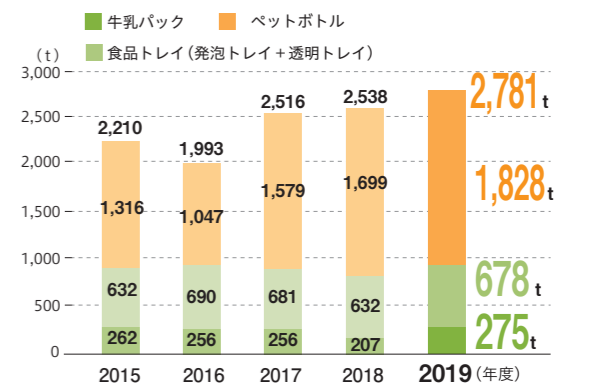
2019年度の発生量は38,873tで、前年に比べ6,239t増加しましたが、リサイクル量も6,370t増加(30,191t)、最終処分量は131t減の8,683t、リサイクル率77.7%でした。

リサイクル率 **77.7%**

▶食品リサイクル量の推移



▶店頭回収量の推移



環境マネジメント

全店でISO14001の認証を取得しています。

平和堂は、環境の国際規格(ISO14001)の認証を本部および全店で認証取得しており、社長をトップとした組織体制で環境マネジメントシステム(EMS)を運用しています。2019年度は8項目全てにおいて、目標を達成しました。

社会情勢や取り巻く環境の変化に対応しながら、循環型社会に貢献していけるようさらなる取組みを進めていきます。

▶2019年度の実績と2020年度の目標

◎ 目標を大幅に上回る ○ 目標達成 △ 目標未達 ✕ 目標を大幅に下回る

環境方針	2019年度目標	2019年度実績	2020年度目標
環境に配慮した商品づくりと提供を推進します	環境配慮型商品の販売拡大 環境セレクトの御奉仕高向上 環境セレクトの認知度向上 2018年度実績 131億円	133億円 13,880,583千円 (昨年比:105.7%)	○ 環境配慮型商品の販売拡大 環境セレクトの御奉仕高向上 環境セレクトの認知度向上
省エネルギー・省資源を推進します	一次エネルギー使用量の削減 (電気・ガス・石油類) エコストア省エネ設備導入推進 2018年度対比(原単位) kWh/h・㎡	1%削減 0.070kWh/h・㎡ 2.47%削減(原単位) (昨年:0.072kWh/h・㎡)	◎ 一次エネルギー使用量の削減 (電気・ガス・石油類) エコストア省エネ設備導入推進 (原単位)2019年度対比
	配送車両の使用燃料の削減 センター配送便数2018年度対比 (1店舗あたり月平均)	1%削減 累計便数 平均 169便 3.8%削減	◎ 配送車両の使用燃料の削減 センター配送便数2019年度対比 (1店舗あたり月平均)
	水道使用量の削減 2018年度対比(原単位) ㎥/h・㎡	1%削減 0.318㎥/h・㎡ 3.01%削減(原単位)	◎ 水道使用量の削減 (原単位)2019年度対比
	紙の使用量削減 コピー用紙・POP用紙使用枚数 2018年度対比既存店総枚数/枚	1%削減 49,161千枚 2.3%削減	○ 紙の使用量削減 コピー用紙・POP用紙使用枚数 2019年度対比既存店総枚数/枚
地球温暖化防止のため、CO ₂ 排出量を削減します	CO ₂ 排出量の削減 2018年度対比(原単位)	1%削減 35,738t-CO ₂ /h・㎡ 1.15%削減	○ CO ₂ 排出量の削減 (原単位)2019年度対比
廃棄物の削減と資源の有効活用に取り組みます	生ゴミのリサイクル率の向上 2018年度実績 62.0% (魚アラ・廃食油リサイクル等)	62.6% 62.7% (昨年比100.6%)	○ 生ゴミのリサイクル率の向上 生ゴミ・魚アラ・廃食油リサイクルの推進
地域社会の環境保全活動を支援します	平和堂エコピースクラブの拡大 子ども環境学習への参加団体の増加 2018年度実績96団体	100団体 117団体 (昨年比121.9%)	◎ 平和堂エコピースクラブの拡大 子ども環境学習への参加団体の増加

環境会計

環境に配慮した経営を効率的に推進しています。

平和堂では、環境保全のための投資や費用を定量的に管理し、その効果を金額として把握することで、取組みの一層の効率化を図るとともに、合理的な意思決定を行うための環境会計に取り組んでいます。

集計範囲 株式会社平和堂(単体) 対象期間 2019年2月21日～2020年2月20日

▶環境保全コスト (単位:千円)

分類	主な取組み内容	2018年度		2019年度	
		投資額	費用額	投資額	費用額
(1) 事業エリア内コスト		894,500	938,393	60,169	1,825,167
内訳	(1)-1 公害防止コスト		143,969	24,400	138,908
	(1)-2 地球環境保全コスト	881,930	800	23,694	828,011
	(1)-3 資源循環コスト	12,570	793,624	12,075	858,248
(2) 上・下流コスト	容器包装リサイクル法再商品化委託料・お買い物袋持参エコポイント費		138,815		168,187
(3) 管理活動コスト	ISO審査登録コスト・専任者人件費 社員教育・CSR報告書作成費		32,017		30,654
(4) 研究開発コスト		—	—	—	—
(5) 社会活動コスト	平和の森づくり・有料レジ袋収益金寄附 環境展出演・子ども環境学習		14,419		15,997
(6) 環境損傷対応コスト		—	—	—	—
合計		894,500	1,123,644	60,169	2,040,005

■環境保全効果

①事業エリア内コストに対応する効果

分類	環境パフォーマンス指標(単位)	2018年度	2019年度
事業活動に投入する資源に関する効果	電気使用量 (MWh)	280,149	279,043
	ガス使用量 (千m ³)	2,848	2,606
	重油・灯油使用量 (kl)	1,579	1,486
事業活動から排出する環境負荷及び廃棄物に関する効果	軽油使用量 (kl)	5,241	4,787
	水道使用量 (千m ³)	1,508	1,487
	CO ₂ 排出量 (t-CO ₂)	157,406	157,796
	廃棄物総排出量 (t)	32,634	38,873
	廃棄物最終処分量 (t)	8,814	8,683
	排水量 (千m ³)	1,508	1,487

②上・下流コストに対応する効果

分類	環境パフォーマンス指標(単位)	2018年度	2019年度
事業活動から産出する財・サービスに関する効果	レジ袋使用削減枚数(千枚)	187,586	193,467
	牛乳パック回収量(t)	207	275
	食品トレイ回収量(t)	632	678
	ペットボトル回収量(t)	1,699	1,828

■環境保全対策にともなう経済効果 (単位:千円)

効果の内容	2018年度	2019年度
店頭回収品リサイクル売却益	37,831	42,286
有料レジ袋収益金	11,025	11,405
省エネ設備導入効果	115,325	149,196
お買い物袋持参推進によるレジ袋費の節減	464,584	432,585
レジ袋使用減による容り法再商品化委託料の節減	45,890	46,294
リサイクル推進による廃棄物処理費の節減	9,310	16,306
合計	683,965	698,072